

全国アマモサミット2023

in ぶんおか 大会宣言

私たちは、人の営みと自然環境の調和を真剣に考え、
持続的に恵みを受けることのできる「ぶんおかの海」に想いを馳せて、
それぞれの大切なものを尊重し、豊かな自然と人々の幸せの向上のため、
ともに行動します。

福岡・博多のまちは、物流・人流の両面で日本と世界各国を結ぶ玄関口として重要な役割を担っており、博多湾・玄界灘の豊かな恵みを受けて発展してきました。一方で磯焼け、漁業資源の減少、海底環境の悪化などの問題を抱えており、これらの課題解決に向けて多くの取り組みが行われています。

「全国アマモサミット 2023 in ぶんおか」では、「ぶんおかの海に関わる全ての関係者が海づくりの新たなスタートラインに立つこと」をテーマに、様々な立場の人が集まりました。大会を作り上げていく過程や大会中の議論を通して、私たちが皆「より良いぶんおかの海」を求めており、SDGs の次のステップとして包括的な豊かさの指標となる「新国富指標」を見据えて「ぶんおかの海」から得られる自然の価値を示す「自然資本」を豊かにすることで、その実現に努める必要があることを再認識しました。私たちは、本大会を通してともに活動していく基盤を築き、これらの新たな指標が表す豊かさ、自然資本を向上させるための新たなスタートラインに立っています。

本大会の成果として、ぶんおかの海から生まれた繋がりをもとに、すべての関係者が豊かに幸せになるための「Well-being」向上のために、多様な人々とともに行動することを宣言します。

2023年10月22日

全国アマモサミット2023 in ぶんおか 実行委員会

全国アマモサミット2023 in ぶんおか 参加者一同

この宣言が、関係するすべての人が自ら行動するためのヒントとして活用され、様々な行動が生まれることを期待します。

【行動のヒント】

- 160万人を超える人々が豊かにくらすまち「福岡」の発展と、博多湾の豊かな自然を継承します。
- 玄界灘、博多湾、そしてその湾口、湾央、湾奥の環境の違いを大切な多様性としてとらえます。
- イカ、クルマエビ、ガザミ、マコガレイをはじめとするおいしい海の命をつなぐために、藻場・海草場を守り再生するための努力を惜しみません。
- 特に湾奥のアマモ場をとりもどすための共創を（行政や、企業、漁業者、教育関係者、市民、研究者、若者らとともに）模索します。
- 教育や体験活動、生業をはじめとする日々の生活の中で「ぶんおかの海」の恵みを感じる機会をふやします。
- 年齢や立場を超えて同じ目線で博多湾に想いを馳せ、自分たちの時代を生きる子どもたちとともに、豊かさを発見し伝えていきます。